

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町)
TEL (0848) 37-7272
- ワークスさつき (美ノ郷町)
TEL (0848) 48-5900
- むかいしま作業所 (向島町)
TEL (0848) 44-6460
- 尾道福祉専門学校 (久保町)
TEL (0848) 37-2222
- 尾道さつき作業所 (久山田町)
TEL (0848) 23-8004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町)
TEL (0848) 48-4070
- すだちの家 (御調町)
TEL (0848) 77-1122
- 尾道市障害者サポートセンターはな・はな (門田町)
TEL (0848) 29-5002



青山 興司 理事長

平成24年6月、尾道さつき会理事長に就任しました青山興司 (あおやま こうじ) です。

私は尾道に生まれ、尾道北高等学校を卒業するまでを尾道で過ごしました。岡山大学医学部を卒業後は、国立岡山病院にて小児科・小児外科医として子供の診療を行ってまいりました。平成9年からは川崎医科大学で小児外科教授として医学生への教育に携わり、更に平成16年からは独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの院長として病院経営に携わってまいりました。また平成22年からは社会福祉法人旭川荘の特別顧問に就任し、障害者・高齢者の医療、福祉の在り方を模索してまいりました。

本年4月から「尾道市立総合医療センター総長」として、50年ぶりに故郷尾道で医療に携わる事になりました。

尾道さつき会は、昭和53年5月に知的障害者の無認可作業所として故青山澄子氏が立ち上げ、その後、現副理事長 平石朗氏の協力と多くの方々のご理解とご支援によ

質の高いサービス提供を目指す

り、昭和57年に社会福祉法人の認可を受けることができました。その後も各方面からのご支援のお蔭で福祉事業は拡大・充実し、現在は障害者事業所・高齢者事業所がそれぞれ14か所、それに介護福祉士養成学校の計29か所の事業所を運営しております。これもひとえに多くの皆様の温かいご支援の賜物と心より感謝を申し上げます。

来年5月には、新たな地域密着型サービスセンターが完成いたします。この施設においては、高齢者の方々が快適な生活を送れる空間と、より質の高い福祉サービスを提供できることを目指しております。その他、障害者事業部は障害者総合支援法への円滑な移行を目指し、専門学校では介護福祉士養成の今後を見据えた運営を行う予定です。

このような時期に尾道さつき会理事長に就任することになりましたことは非常に名誉な事でありますが、また同時に重大な責任を感じております。微力ではありますが、利用者の方々の心に寄り合い、安心して生活できる地域社会の実現に向けて職員共々努力するつもりですので、引き続き皆様のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



理事長就任
あいさつ

安心して暮らせる
地域社会の実現を



▲焦らず安全に

また、避難訓練の後に町内会長さんから消火器の扱い方を指導していただきました。消火器が的につまみ当てられず焦る職員をみて、利用者さんたちは大笑い。なごやかな雰囲気にもまれて訓練を終えました。計画から反省会までを地域の方と一緒に進めること、いかに早く火災発生を地域に伝えるかなど、課題を見つけることもできました。これからも西迫町内会の方のご協力を得ながら、本当に役立つ訓練を積み重ねていきます。

星の里にしぎの家 村上 佳代
火事や災害が起きた時どうしたらいいか…。皆さんは普段考えることがありますか？にしぎの家では、常時30名余りの高齢の利用者さんが生活しています。2008年の開所当初から年4回の避難訓練を行い、限られた職員数での避難と、利用者さんの安全確保の方法について考えてきました。特に夜間は少ない職員数で対応するには限界があると感じ、その反省から、このたび西迫町内会の方々と、隣に開所した(株)アーバンケアが運営するグループホームなどにも協力をお願いして、次のことを目標にした合同訓練を実施しました。

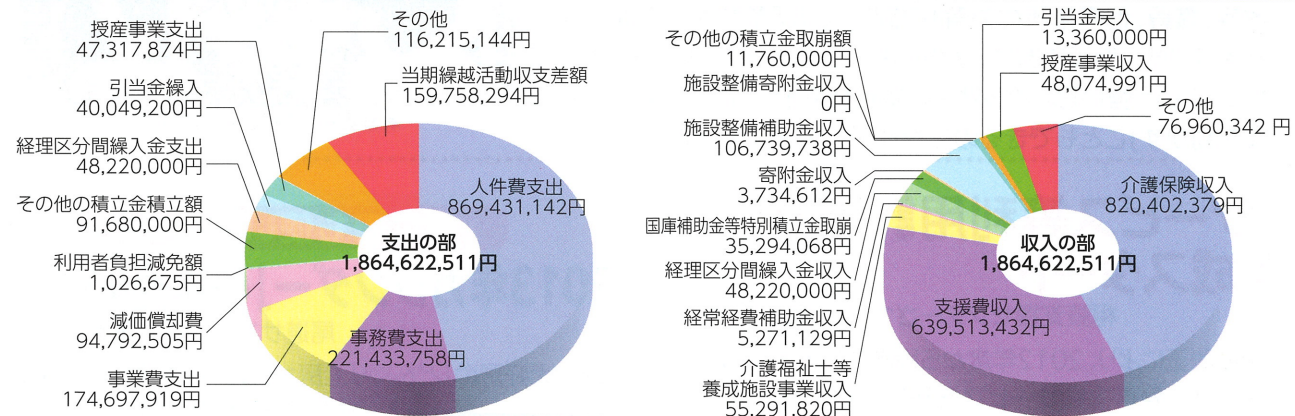
初の地域との合同避難訓練

3分で利用者さん無事退去



▲いざという時のために

2011年度 尾道さつき会収支状況



寄付者一覧

(二〇一二年四月～二〇一二年七月・順不同・敬称略)
〔寄付金〕 沖浦利江、津川尚子、島居貞夫、金永訓二、永金春雄、池田敏子、水戸川賢造、山根智恵子、井上麗、黒田健一、青山信子、永正寺、万福寺仏教婦人会
〔寄付物品〕 須田稔、田尻弘子、第79番高照院、(株)まるじょう

編集後記

今年も、どんぐり工房カレンダーができあがりしました。温かい作品の数々をお楽しみください。(T.O)

秋のイベント情報

すだちの家感謝彩2012
場所…すだちの家(御調町)
日時…10月6日(土)
10時～13時30分

星の里にしぎの家 秋祭り
場所…星の里にしぎの家(吉和町)
日時…10月13日(土) 15時～18時

第12回 尾道サンホームまつり
場所…尾道サンホーム(木ノ庄町)
日時…10月20日(土) 10時～14時

作業所まるごと体験会
来て 見て 感じて みんな祭
場所…むかいしま作業所(向島町)
日時…10月21日(日) 10時～14時

シリーズ **福祉のしごと** 相談員編

星の里 主任生活相談員 長尾 浩明

生活相談員とは老人ホームにおいて必置義務があり、社会福祉士という国家資格を有する者または社会福祉主事という任用資格を有する者ができる職種です。今回は特別養護老人ホーム星の里の生活相談員の仕事の一部を紹介します。

星の里に入所を希望される方の相談にのります

高齢や病気等、様々な理由で介護ができないため、特養の入所を希望される家族がおられます。そういった方々の話を聞き、ご本人の身体状況や認知症の状況、住環境等を確認することで、入所後の安定した生活につなげています。



▲時には、一緒にお買いもの

利用者・家族と施設の橋渡しをします

短期入所を利用される利用者さんの自宅での様子や薬の内容等を確認して施設に伝えます。また、退所時には施設での様子を家族に伝えます。

情報伝達に細心の注意を払い、施設内での介助方法の統一、家族の意向に沿った対応を行えるよう努めています。



▲連絡をしっかり行います

生活相談員は外部の方と接する機会が多く、星の里が良い施設と思われるのも、悪い施設と思われるのも自分たちの対応にかかっているの、常に「施設の顔である」ということを意識して業務をしています。

生活相談員の仕事は多岐にわたり、日々、様々な人(利用者、家族、職員、他事業所の方等)の間に入り調整をするのは大変です。しかし、施設における裁量、影響力も大きく「施設を良くしたい」という強い思いがあれば、多職種協働の中心となって「施設を動かす」こともできるのでやりがいを感じています。



▲お気軽にご相談ください

「サービス等利用計画」の作成スタート

相談支援センターさつき 畠山 安代

制度改正により、2012年度から段階的におおむね3年をかけて障害福祉サービスを利用するすべての方にサービス等利用計画※の作成が必要になります。

当センターでは、障害のある方やそのご家族に必要な情報提供や助言を行います。また、ご本人やご家族等の意向を大切に、希望する暮らしの実現に向けて、何が必要なのかを見極めながら、地域・福祉・医療・教育関係等の機関と連携し、サービス等利用計画の作成と支援体制を整えていきます。相談は無料です。お気軽にご連絡ください。 電話(0848)23-8004

サービス等利用計画とは・・・生活していくときに必要となるさまざまなサービスを上手に活用するために作る計画。作成された計画は、市町がサービスの支給決定を行う際に参考にされるほか、実際のサービス利用時には、支援者の「共通目標」となる。

誰にでも使いやすく **「2013年カレンダー」の販売開始**

尾道サンホーム 藤岡 直

毎年、大好評の「どんぐり工房カレンダー」=写真=を10月4日から販売します。



尾道大学とのコラボレーション第2弾となる今回のカレンダーは、大きくはっきりとした見やすい文字、今までより広くなったメモ欄など、「誰にでも使いやすいカレンダー」を目指して作りました。

もちろん、利用者さんの描いたユニークで感性あふれる絵画作品が満載です。

今回は、壁掛けカレンダーだけでなく、以前大好評だった「卓上カレンダー」を復活し、セットで税込み価格1000円となっています。ぜひ、お早めにお買い求めください。

連絡先：尾道さつき作業所 電話0848-23-8004



▲収穫したサラダほうれんそう

利用者さんは「暑いし忙しくて大変」と言いながら毎日作業をしていきます。利用者さんの作ったおいしい野菜が皆さんの食卓に届き、尾道を中心とした地域に貢献できることを目指しています。注文や出荷先などの紹介がありましたら、ご連絡お願いします。



▲袋詰め作業

「年間売上げ2000万円」を目標に、どんどん出荷先を増やしていきたいと思えます。

私たちの家 仲本 明洋

いよいよ出荷スタート
食を通して地域貢献

なります。すだちの店舗、三原のスーパーや農協「なか浦」など市内の飲食店に出荷しています。



▲収穫作業

水耕栽培がスタートして、早くも5月が過ぎました。6棟あるビニールハウスでは、肥料管理が適正に行われ、栽培期間中は農薬を使用せず、生でも食べられるサラダほうれん草が毎日40kg収穫されています。収穫したほうれん草は、専用室で葉の選別や袋詰め等の調整作業を経て出荷と



▲建物の完成予想図

現在尾道市には、特別養護老人ホームの待機者が約1,300名おり、市では待機者の解消を図るため、定員を今後242名増やす計画を立てています。この計画を受け、尾道さつき会は尾道福祉専門学校に隣接地に、新しい施設を建設することになりました。ここには、ユニット型地域密着型介護老人福祉施設(全室個室・29名)、小規模多機能型居宅介護事業(登録25名)および短期入所生活介護事業(全室個室・20名)の複合施設を建設します。

建設する特養は、「ユニット型



▲1階 地域交流ラウンジ イメージパース

完成後は、既設の特別養護老人ホーム星の里の定員は16名増えて70名、地域密着型介護老人福祉施設は29名となり、新たに45名の待機者の入所が可能となります。また、短期入所生活介護事業の定員も4名増えますので、より利用しやすくなります。9月3日に安全祈願祭を終え着工しました。建物は来年の3月に完成し、開設は5月を予定しています。

待機者の解消に一役 **地域密着型サービスセンター着工**

財務企画部 松谷 勝正

地域密着型と呼ばれるもので、事業所のあたる市町の住民を対象にしたものです。リビングや食堂を少数で共有する「ユニット型」を採用し、家族的で親密なサービスが提供できます。また、建物には地域とのつながりを深める拠点として「地域交流ラウンジ」を設けます。ここでは地域の高齢者や各種団体が趣味活動やレクリエーション活動等で利用できるようにしています。



▲工事の安全を祈願して